

見積参考資料

委託業務名 R2徳耕 ストマネ 川内榎瀬管路 設  
計業務

注意

「見積参考資料」は入札参加者の迅速で適正  
な業務委託費の見積りのための一資料であ  
り、委託契約を拘束するものではない。

事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業 川内榎瀬管路地区
業務名	R 2 徳耕 ストマネ 川内榎瀬管路 設計業務

項目名	内容
事業主体名	東部農林水産局 (徳島)
事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業
地区名	川内榎瀬管路地区
業務名	R 2 徳耕 ストマネ 川内榎瀬管路 設計業務
施工場所	徳島市川内町
業務番号	2020010
業務区分	
積算区分	当初積算
地域区分	徳島県
地区区分	徳島東部 1
工期	
積算体系年月	令和 2 年 8 月
単価期適用年月	令和 2 年 8 月 - A
歩掛期適用年番号	
電力会社名	

















事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業 川内榎瀬管路地区				
業務名	R 2 徳耕 ストマネ 川内榎瀬管路 設計業務				

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単-1号 ***					
	実施設計 パイプライン		式		1.000 式	当たり算出
	実施設計 パイプライン 難易度補正 I, 25m, しない, $0.05 \leq Q < 2m^3/s$			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)設計内容	難易度補正 I				
	2)設計対象延長	25m				
	3)複合設計区分	しない				
	4)流量区分	$0.05 \leq Q < 2m^3/s$				
	5)1. 現地調査	計上する				
	6)2. 資料の検討	計上する				
	7)3-1. 設計計画基本条件の検討	計上する				
	8)3-2. 設計計画管種、管径の検討	計上しない				
	9)4-1. 水理検討定常水理解析	計上しない				
	10)4-2. 水理検討非定常水理解析	計上しない				
	11)5. 構造計算	計上する				
	12)6. 構造図作成	計上しない				
	13)7. 附帯構造物	計上する				
	14)8. 附帯施設構造図作成	計上する				
	15)9. 平面縦断図作成	計上する				
	16)10. 土工図作成	計上しない				
	17)11. 数量計算	計上する				
	18)12. 施工計画	計上する				
	19)13. 特別仕様書作成	計上しない				
	20)14. 概算工事費積算	計上しない				
	21)15. 総合検討	計上しない				
	22)16. 照査	計上する				
	23)17. 点検取りまとめ	計上する				
	24)1個別補正現地調査					
	25)2個別補正資料の検討	1.00				
	26)3-1個別補正基本条件の検討					
	27)3-2個別補正管種、管径の検討					
	28)4-1個別補正定常水理解析					
	29)4-2個別補正非定常水理解析					
	30)5個別補正構造計算					

事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業 川内榎瀬管路地区
業務名	R 2 徳耕 ストマネ 川内榎瀬管路 設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	31) 6個別補正構造図作成					
	32) 7個別補正附帯構造物					
	33) 8個別補正附帯施設構造図作成					
	34) 9個別補正平面縦断図作成					
	35) 10個別補正土工図作成					
	36) 11個別補正数量計算					
	37) 12個別補正施工計画					
	38) 13個別補正特別仕様書作成					
	39) 14個別補正概算工事費積算					
	40) 15個別補正総合検討					
	41) 16個別補正照査					
	42) 17個別補正点検取りまとめ					
	主任技師 内業		人			
	技師 (A) 内業		人			
	技師 (B) 内業		人			
	技師 (C) 内業		人			
	技術員 内業		人			
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価		式			
	*** S単- 2号 ***					
	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,,,,,,,,			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1) 設計工種	一般工種				
	2) 打合せ					

事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業 川内榎瀬管路地区
業務名	R 2 徳耕 ストマネ 川内榎瀬管路 設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	3)設計用主任技師人数					
	4)設計用技師(A)人数					
	5)設計用技師(B)人数					
	6)設計用技師(C)人数					
	7)打合せ日数					
	8)往復移動日数					
	主任技師		人			
	技師 (A)		人			
	合計					算出数量 1.000 回
	単 価		回			
	*** S単- 3号 ***					
	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,,,,,,			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種				
	2)打合せ					
	3)設計用主任技師人数					
	4)設計用技師(A)人数					
	5)設計用技師(B)人数					
	6)設計用技師(C)人数					
	7)打合せ日数					
	8)往復移動日数					
	技師 (A)		人			
	技師 (B)		人			
	合計					算出数量 1.000 回

事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業 川内榎瀬管路地区				
業務名	R 2 徳耕 ストマネ 川内榎瀬管路 設計業務				

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		回			
	*** S単- 4号 ***					
	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種,, 通勤により打合せ,,, ライトバン,,, 1時間, L < 100km (100km未満)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1) 設計工種 2) 打合せ内容 3) 主任技師配置人員 4) 技師A 配置人員 5) 技師B 配置人員 6) 技師C 配置人員 7) 打合せ日数 8) 往復移動日数 9) 宿泊区分 12) 交通機関区分 13) 高速道路往復料金 (税別) 14) 鉄道往復1人当料金 (税別) 15) バス往復1人当料金 (税別) 16) 船舶往復1人当料金 (税別) 17) 航空往復1人当料金 (税別) 18) ライトバン使用日数 19) 時間区分 20) 往復移動距離区分	一般工種          通勤により打合せ ライトバン          1時間 L < 100km (100km未満)				
	ライトバン[二輪駆動]		日			<損料>
	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	2.600	L			
	合 計					算出数量 1.000 回

事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業 川内榎瀬管路地区				
業務名	R 2 徳耕 ストマネ 川内榎瀬管路 設計業務				

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		回			
	*** S単- 5号 ***					
	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1.000 回	当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種,, 通勤により打合せ,,, ライトバン,,, 1時間, L < 100km (100km未満)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種				
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員 5)技師B配置人員 6)技師C配置人員					
	7)打合せ日数 8)往復移動日数					
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ ライトバン				
	13)高速道路往復料金（税別） 14)鉄道往復1人当料金（税別） 15)バス往復1人当料金（税別） 16)船舶往復1人当料金（税別） 17)航空往復1人当料金（税別） 18)ライトバン使用日数					
	19)時間区分 20)往復移動距離区分	1時間 L < 100km (100km未満)				
	ライトバン[二輪駆動]		日			<損料>
	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	2.600	L			
	合 計					算出数量 1.000 回



【パイプライン設計作業項目内訳表】 《実施設計》

作業項目	作業内容	作業項目
1 現地調査	実施設計に必要な調査を行う。 (補足説明) 路線計画設計(実施)時及び基本設計時に実施した現地調査結果の確認を行う。	○
2 資料の検討	実施設計のための資料収集及び貸与資料の内容を把握する。	○
3 設計計画 3-1 基本条件の検討	詳細実測資料に基づく水理構造条件を決定する。 (補足説明) 貸与資料、現地調査等から、指示する基本条件を 1/500 地形図(実測図)で検討し、決定する。	○
3-2 管種・管径の検討	管種・管径について詳細な比較をする。 (補足説明) 水理ユニット内の等動水勾配法による水頭配分を最適な水頭配分に修正し、これによる管種・管径を決定する。	—
4 水理検討 4-1 定常水理解析	詳細水理計算を行う。 (補足説明) 水理ユニット区分毎に全損失水頭を計算し、 $H \cdot W$ 公式により水理計算を行い、口径及び水頭の適否を検討する。なお、キャビテーションについても検討する。	—
4-2 非定常水理解析	詳細水理計算を行う。 (補足説明) 水理ユニット区分毎に水撃圧を数値解法により計算し、この結果について経験則による値との対比を行って適切に水撃圧を予測する。	—
5 構造計算	各実施断面について、内外圧に対する詳細な構造計算を行う。 (補足説明) 埋設管については、内外圧荷重の変化毎且つスラストブロック毎に構造計算を実施する。	○
6 耐震設計	重要度区分に応じた耐震設計(応答変位法を用いたレベル1、レベル2地震動の検討、地盤変状に対する検討、液状化対策の検討)及び地震応答対策の検討を行う。	—
7 構造図作成	各タイプの構造詳細図及びスラストブロックと異形管構造詳細図、管況図等を作成する。 (補足説明) 構造詳細図とは、構造図の他に施工上必要な基礎工及び箱抜等を記入する図をいう。この構造詳細図を施工上必要な構造物について作成するとともに管況図を作成する。	—
8 附帯構造物	各構造物の詳細な構造計算を行い決定する。 (補足説明) 各附帯各種構造物について構造計算を行い、規模を決定する。	○
9 附帯施設構造図作成	構造一般図、構造詳細図、配筋図、鉄筋加工図を作成する。 (補足説明) 各附帯施設について作成する。	○
10 平面・縦断図作成	詳細の平面縦断図、管割図を作成する。 (補足説明) 縮尺の標準は縦 1/100、横 1/500 とし、測点間隔は 100mとする。平面・縦断図に管径・管種区分、管割図並びに附帯工を記入する。	○
11 土工図作成	施工法区分毎土工数量等を記入する。 (補足説明) 流用土、搬出土(捨土)、搬入土(購入土)等が算定できる図面を作成する。	—
12 数量計算	土工、コンクリート、鉄筋、型枠、管、附帯工、仮設工、材料等の詳細な数量計算を行う。 (補足説明) 数量計算運用規定に基づいて数量計算を行う。	○
13 施工計画	工程計画、施工順序、方法や主要仮設の施工計画等の詳細計画図を作成する。	○
14 特記仕様書作成	工事実施に必要な特記仕様書を作成する。 (補足説明) 既施工地区における特記仕様書を参考に本業務について工事実施のための必要な特記仕様書を作成する。	—
15 概算工事費積算	各工種の単価を作成し、概算工事費を算定する。	—
16 総合検討	前項までの作業について総合的に検討し、工事実施のための点検を行う。 (補足説明) 前項までの作業について総合的に検討し、工事実施に当たり必要なコメントを付記する。	—
17 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	○
18 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、とりまとめ及び報告書の作成を行う。	○